

一 般 質 問 通 告 書

令和5年8月21日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 太 田 康 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 米作農家の将来は	近年、米価が下落し、米作農家の経営が非常に厳しい状況です。大規模・小規模に関わらず、米価が生産コストを下回っており、すでに経営努力の範囲を超え、構造的に継続不可能な状態に陥っています。このままでは、離農者が増え、多くの水田が耕作放棄地となることが想定されます。 また、全国的には米の需要の減少、米余りと言う状況で、国は米より飼料用作物の栽培を推進しています。 以上を踏まえ、杉戸町の米作りについて以下伺います。 (1) 農地を拡大して効率アップさせる、農地耕作条件改善事業の進捗状況は、どうなっているのか。 (2) 米作農家の高齢化が急速に進行しており、「この後、誰がこの田んぼを継いでくれるのか。」といった声を耳にします。優良農地を保全するためにも、耕作放棄地にしないためにも、後継者問題について、町はどのように考えているのか。 (3) 地産地消等により、米の消費量を拡大する対策が必要と考えるが、町の見解は。	町長 副町長 産業振興課長 担当課長

8月21日 午前・午後 4時25分 受理